平成27年11月12日

各　　位

会　社　名：　日新電機株式会社
代 表 者 名：　代表取締役社長
小　畑　英　明
（コード番号 6641、東）
問 合 せ 先：経理部長　舌間　修平
（TEL：075-864-8315）

（訂正）「平成24年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成27年10月28日付「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明及び平成28年３月期第２四半期決算発表の延期に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業をすすめてまいりました。

このたび、平成23年10月27日付「平成24年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には＿を付して表示しております。

以　　上

（訂正後）

平成24年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場会社名　日新電機　上場取引所　東 大

コード番号　6641　URL　http://nissin.jp/

代表者　（役職名）　代表取締役社長　（氏名）　小畑　英明

問合せ先責任者　（役職名）　経理部長　（氏名）　舌間　修平　TEL　075-864-8315

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日　配当支払開始予定日　平成23年12月６日

四半期決算補足説明資料作成の有無　：有

四半期決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成24年３月期第２四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第２四半期	43,247	12.1	1,371	△7.2	1,498	△5.5	859	20.6
23年３月期第２四半期	38,595	10.6	1,477	―	1,585	―	712	―

(注) 包括利益 24年３月期第２四半期　△48百万円（△72.4%）　23年３月期第２四半期　△177百万円（―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年３月期第２四半期	8.04	8.04
23年３月期第２四半期	6.67	6.67

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第２四半期	102,387	56,433	52.9
23年３月期	108,898	57,028	50.3

(参考) 自己資本 24年３月期第２四半期　54,123百万円　23年３月期　54,777百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年３月期	―	3.00	―	6.00	9.00
24年３月期	―	4.00			
24年３月期(予想)			―	5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	10.6	7,600	4.9	7,400	1.5	4,600	4.5	43.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規　—社（社名）　、除外　—社（社名）

（注）詳細は、添付資料Ｐ．２をご覧ください。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ．２をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：有

③　会計上の見積りの変更　：有

④　修正再表示　：無

（注）「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。
詳細は、添付資料Ｐ．２をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年３月期２Ｑ	107,832,445株	23年３月期	107,832,445株
②　期末自己株式数	24年３月期２Ｑ	948,601株	23年３月期	1,019,349株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年３月期２Ｑ	106,852,917株	23年３月期２Ｑ	106,730,496株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）２ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 …… 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
3. 四半期連結財務諸表 …… 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
(3) 継続企業の前提に関する注記 …… 8
(4) セグメント情報等 …… 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… １０
4. 補足情報 …… １０
(1) 海外売上高 …… １０
(2) 所在地別セグメント情報 …… １０

1.　当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期（平成23年4月1日～平成23年9月30日）の売上高は、経営環境が厳しい状況にある中、グループをあげて拡販に努めました結果、前年同期に比べ4,652百万円増加し43,247百万円となりました。報告セグメント別内訳では、電力機器事業の売上高は22,093百万円、ビーム･真空応用事業の売上高は11,480百万円、新エネルギー・環境事業の売上高は2,553百万円、ライフサイクル・エンジニアリング事業の売上高は7,120百万円となりました。

経常利益は、企業体質の改革・強化を推進し、コストダウンなど当社グループをあげて収益向上に努めましたが、競争激化による販売価格の下落などにより、前年同期に比べ87百万円減少し、1,498百万円となりました。

特別損益項目はなく、少数株主利益及び法人税等調整後の四半期純利益は、前年同期に比べ146百万円増加し、859百万円となりました。

なお、当社の業績は、官公庁向け及び一般民需案件ともに第４四半期に売上が集中する傾向があるため、四半期別の業績には季節的変動があります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産の部は、当第２四半期末で102,387百万円となり前連結会計年度末に比べ6,511百万円減少しました。これは主として、現金及び預金の減少、及び受取手形及び売掛金の減少によるものです。

負債の部は、当第２四半期末で45,953百万円となり前連結会計年度末に比べ5,916百万円減少しました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少、及び前受金の減少によるものです。

純資産の部は、当第２四半期末で56,433百万円となり前連結会計年度末に比べ594百万円減少しました。これは主として、その他有価証券評価差額金の減少、及び為替換算調整勘定の減少によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、第３四半期以降の経済情勢、市場動向には不透明な要素が残るものの、半導体用イオン注入装置の需要減少等を見込み、平成23年10月25日に売上高１，０００億円、営業利益７６億円、経常利益７４億円、当期純利益４６億円にそれぞれ下方修正しています。

（注）上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2.　サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、従来、決算日が12月31日であった日新電機タイ株式会社他３社については、当第１四半期連結会計期間より決算日を３月31日に変更しています。

また、日亜電機股份有限公司、日新電機(無錫)有限公司、日新(無錫)機電有限公司、北京宏達日新電機有限公司他１３社の決算日は12月31日ですが、連結財務情報のより適正な開示を図るため、連結決算日において仮決算を実施した上で連結することに変更しています。

これらの変更により、当第２四半期連結累計期間は、平成23年４月１日から平成23年９月30日までの６ヶ月間を連結しています。なお、平成23年１月１日から平成23年３月31日までの３ヶ月間の損益60百万円を利益剰余金に計上しています。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社は、年間の税効果会計適用後の実効税率を見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて税金費用を計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①有形固定資産の減価償却の方法の変更

当社及び国内連結子会社は、従来、建物以外の有形固定資産の減価償却方法について定率法を採用してきましたが、当第１四半期連結会計期間より定額法に変更しています。

この変更は、設備の稼働率や補修費の発生を調査した結果、概ね安定的、平均的に推移していることからより適切な費用配分を行うため、また親会社である住友電気工業株式会社と会計方針を統一するとともに、当社グループにおいても今後一層のグローバル展開を進めていくなかで、在外連結子会社と会計方針の統一をはかることを目的とするものです。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第２四半期連結累計期間の営業利益は187百万円、経常利益、税金等調整前四半期純利益は188百万円増加しています。

②有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び一部の国内連結子会社は、従来、機械装置の耐用年数を７年として減価償却を行なってきましたが、当第１四半期連結会計期間において、減価償却方法の変更を契機として、資産の利用状況等を調査し、耐用年数の妥当性について検討した結果、耐用年数を１０年に見直し、将来にわたり変更しています。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は27百万円増加しています。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,909	10,319
受取手形及び売掛金	33,048	27,030
有価証券	3,043	1,372
たな卸資産	25,493	28,714
その他	6,041	6,524
貸倒引当金	△366	△526
流動資産合計	80,168	73,435
固定資産		
有形固定資産	18,044	19,051
無形固定資産	1,867	1,656
投資その他の資産		
その他	9,153	8,653
貸倒引当金	△335	△410
投資その他の資産合計	8,817	8,243
固定資産合計	28,729	28,951
資産合計	108,898	102,387
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,757	17,703
短期借入金	5,247	3,974
未払費用	5,407	6,129
未払法人税等	1,550	514
前受金	9,038	7,183
受注損失引当金	795	839
その他の引当金	927	760
その他	2,193	1,976
流動負債合計	44,918	39,084
固定負債		
長期借入金	351	210
退職給付引当金	3,554	3,661
環境対策引当金	2,204	2,204
その他	841	793
固定負債合計	6,951	6,868
負債合計	51,869	45,953

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,252	10,252
資本剰余金	6,664	6,679
利益剰余金	39,368	39,647
自己株式	△317	△295
株主資本合計	55,968	56,283
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	924	524
繰延ヘッジ損益	19	△22
為替換算調整勘定	△2,134	△2,661
その他の包括利益累計額合計	△1,191	△2,159
新株予約権	16	10
少数株主持分	2,234	2,299
純資産合計	57,028	56,433
負債純資産合計	108,898	102,387

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	38,595	43,247
売上原価	27,795	31,727
売上総利益	10,799	11,520
販売費及び一般管理費	9,322	10,149
営業利益	1,477	1,371
営業外収益		
受取利息	31	36
受取配当金	46	69
その他	286	241
営業外収益合計	364	347
営業外費用		
支払利息	145	128
その他	110	92
営業外費用合計	256	220
経常利益	1,585	1,498
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	221	―
特別損失合計	221	―
税金等調整前四半期純利益	1,363	1,498
法人税等	452	449
少数株主損益調整前四半期純利益	910	1,049
少数株主利益	198	190
四半期純利益	712	859

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	910	1,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△634	△399
繰延ヘッジ損益	5	△41
為替換算調整勘定	△456	△655
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△1
その他の包括利益合計	△1,087	△1,097
四半期包括利益	△177	△48
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△308	△109
少数株主に係る四半期包括利益	130	60

(3)継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4)セグメント情報等

【セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円 未満切捨）

	報告セグメント			調整額（注)1	四半期連結損益計算書計上額（注)2
	電力機器事業	ﾋﾞｰﾑ･真空応用装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,026	10,568	38,595	―	38,595
セグメント間の内部売上高又は振替高	152	31	184	△ 184	―
計	28,179	10,599	38,779	△ 184	38,595
セグメント利益	1,869	697	2,567	△ 1,090	1,477

（注)1. セグメント利益の調整額△1,090百万円には、セグメント間取引消去7百万円、全社費用△1,098百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第２四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円 未満切捨）

	報告セグメント					調整額（注)1	四半期連結損益計算書計上額（注)2
	電力機器事業	ﾋﾞｰﾑ･真空応用事業	新エネルギー・環境事業	ライフサイクル・エンジニアリング事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	22,093	11,480	2,553	7,120	43,247	―	43,247
セグメント間の内部売上高又は振替高	199	11	6	392	610	△ 610	―
計	22,292	11,491	2,560	7,513	43,858	△ 610	43,247
セグメント利益又は損失(△)	846	602	△ 803	1,081	1,727	△ 356	1,371

（注)1. セグメント利益の調整額△356百万円には、セグメント間取引消去△13百万円、全社費用△343百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない売上原価及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第１四半期連結会計期間から、新中長期計画「ビジョン２０１５」の策定に伴う事業構造の再構築のため、報告セグメントの区分表示を「電力機器事業」「ビーム・真空応用装置事業」の２つの事業セグメントから、「電力機器事業」「ビーム・真空応用事業」「新エネルギー・環境事業」「ライフサイクル・エンジニアリング事業」の４つの事業セグメントに変更しています。
当連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更前の区分表示により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下の通りです。

（単位：百万円 未満切捨）

	報告セグメント			調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書計上額 （注）2
	電力機器事業	ﾋﾞｰﾑ･真空 応用装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,685	13,562	43,247	―	43,247
セグメント間の内部 売上高又は振替高	206	39	245	△ 245	―
計	29,891	13,601	43,493	△ 245	43,247
セグメント利益	1,193	1,417	2,610	△ 1,239	1,371

（注）1. セグメント利益の調整額△1,239百万円には、セグメント間取引消去5百万円、全社費用△1,245百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4.　補足情報

(1) 海外売上高

（単位：百万円 未満切捨）

区　　分	前年同四半期（平成22年4月～平成22年9月） 金額	前年同四半期 連結売上高に占める割合%	当四半期（平成23年4月～平成23年9月） 金額	当四半期 連結売上高に占める割合%
海外売上高				
アジア	14,380	37.2	15,322	35.4
その他	682	1.8	4,575	10.6
合計	15,062	39.0	19,898	46.0

(2) 所在地別セグメント情報

前第２四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）　（単位：百万円 未満切捨）

	報告セグメント 日本	アジア	その他	計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	30,564	8,014	16	38,595	－	38,595
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,358	416	42	1,817	△ 1,817	－
計	31,922	8,431	59	40,412	△ 1,817	38,595
セグメント利益又は損失（△）	1,316	1,305	△ 7	2,614	△ 1,137	1,477

当第２四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）　（単位：百万円 未満切捨）

	報告セグメント 日本	アジア	その他	計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	33,385	9,714	147	43,247	－	43,247
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,505	925	139	2,569	△ 2,569	－
計	34,891	10,639	287	45,817	△ 2,569	43,247
セグメント利益	1,172	1,300	56	2,529	△ 1,157	1,371

（訂正前）

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場会社名　日新電機　　上場取引所　東 大
コード番号　6641　URL http://nissin.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）小畑 英明
問合せ先責任者（役職名）経理部長　（氏名）舌間 修平　TEL 075-864-8315

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日　配当支払開始予定日　平成23年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無 ： 有
四半期決算説明会開催の有無 ： 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	43,247	12.1	1,471	△7.8	1,598	△6.2	918	15.0
23年3月期第2四半期	38,595	10.6	1,595	―	1,704	―	798	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　10百万円 (―%)　23年3月期第2四半期　△91百万円 (―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	8.59	8.59
23年3月期第2四半期	7.48	7.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	102,869	56,915	53.1
23年3月期	109,409	57,451	50.5

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　54,605百万円　23年3月期　55,199百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	3.00	―	6.00	9.00
24年3月期	―	4.00			
24年3月期(予想)			―	5.00	9.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 ： 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	10.6	7,600	1.8	7,400	△1.5	4,600	1.6	43.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

（注)詳細は、添付資料P.2をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注)詳細は、添付資料P.2をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 有

③ 会計上の見積りの変更 ： 有

④ 修正再表示 ： 無

（注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。
詳細は、添付資料P.2をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	107,832,445 株	23年3月期	107,832,445 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	948,601 株	23年3月期	1,019,349 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	106,852,917 株	23年3月期2Q	106,730,496 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）２ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.　当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
2.　サマリー情報（その他）に関する事項 …… 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
3.　四半期連結財務諸表 …… 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
(3) 継続企業の前提に関する注記 …… 8
(4) セグメント情報等 …… 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… １０
4.　補足情報 …… １０
(1) 海外売上高 …… １０
(2) 所在地別セグメント情報 …… １０

1.　当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期（平成23年4月1日～平成23年9月30日）の売上高は、経営環境が厳しい状況にある中、グループをあげて拡販に努めました結果、前年同期に比べ4,652百万円増加し43,247百万円となりました。報告セグメント別内訳では、電力機器事業の売上高は22,093百万円、ビーム･真空応用事業の売上高は11,480百万円、新エネルギー・環境事業の売上高は2,553百万円、ライフサイクル・エンジニアリング事業の売上高は7,120百万円となりました。

経常利益は、企業体質の改革・強化を推進し、コストダウンなど当社グループをあげて収益向上に努めましたが、競争激化による販売価格の下落などにより、前年同期に比べ105百万円減少し、1,598百万円となりました。

特別損益項目はなく、少数株主利益及び法人税等調整後の四半期純利益は、前年同期に比べ119百万円増加し、918百万円となりました。

なお、当社の業績は、官公庁向け及び一般民需案件ともに第４四半期に売上が集中する傾向があるため、四半期別の業績には季節的変動があります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産の部は、当第２四半期末で102,869百万円となり前連結会計年度末に比べ6,540百万円減少しました。これは主として、現金及び預金の減少、及び受取手形及び売掛金の減少によるものです。

負債の部は、当第２四半期末で45,953百万円となり前連結会計年度末に比べ6,005百万円減少しました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少、及び前受金の減少によるものです。

純資産の部は、当第２四半期末で56,915百万円となり前連結会計年度末に比べ535百万円減少しました。これは主として、その他有価証券評価差額金の減少、及び為替換算調整勘定の減少によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、第３四半期以降の経済情勢、市場動向には不透明な要素が残るものの、半導体用イオン注入装置の需要減少等を見込み、平成23年10月25日に売上高１，０００億円、営業利益７６億円、経常利益７４億円、当期純利益４６億円にそれぞれ下方修正しています。

（注）上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2.　サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、従来、決算日が12月31日であった日新電機タイ株式会社他３社については、当第１四半期連結会計期間より決算日を３月31日に変更しています。

また、日亜電機股份有限公司、日新電機(無錫)有限公司、日新(無錫)機電有限公司、北京宏達日新電機有限公司他１３社の決算日は12月31日ですが、連結財務情報のより適正な開示を図るため、連結決算日において仮決算を実施した上で連結することに変更しています。

これらの変更により、当第２四半期連結累計期間は、平成23年４月１日から平成23年９月30日までの６ヶ月間を連結しています。なお、平成23年１月１日から平成23年３月31日までの３ヶ月間の損益60百万円を利益剰余金に計上しています。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社は、年間の税効果会計適用後の実効税率を見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて税金費用を計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①有形固定資産の減価償却の方法の変更

当社及び国内連結子会社は、従来、建物以外の有形固定資産の減価償却方法について定率法を採用してきましたが、当第１四半期連結会計期間より定額法に変更しています。

この変更は、設備の稼働率や補修費の発生を調査した結果、概ね安定的、平均的に推移していることからより適切な費用配分を行うため、また親会社である住友電気工業株式会社と会計方針を統一するとともに、当社グループにおいても今後一層のグローバル展開を進めていくなかで、在外連結子会社と会計方針の統一をはかることを目的とするものです。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第２四半期連結累計期間の営業利益は187百万円、経常利益、税金等調整前四半期純利益は188百万円増加しています。

②有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び一部の国内連結子会社は、従来、機械装置の耐用年数を７年として減価償却を行なってきましたが、当第１四半期連結会計期間において、減価償却方法の変更を契機として、資産の利用状況等を調査し、耐用年数の妥当性について検討した結果、耐用年数を１０年に見直し、将来にわたり変更しています。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は27百万円増加しています。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成23年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,909	10,319
受取手形及び売掛金	33,048	27,030
有価証券	3,043	1,372
たな卸資産	26,004	29,325
その他	6,041	6,395
貸倒引当金	△366	△526
流動資産合計	80,680	73,917
固定資産		
有形固定資産	18,044	19,051
無形固定資産	1,867	1,656
投資その他の資産		
その他	9,153	8,653
貸倒引当金	△335	△410
投資その他の資産合計	8,817	8,243
固定資産合計	28,729	28,951
資産合計	109,409	102,869
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,757	17,703
短期借入金	5,247	3,974
未払費用	5,407	6,129
未払法人税等	1,638	514
前受金	9,038	7,183
受注損失引当金	795	839
その他の引当金	927	760
その他	2,193	1,976
流動負債合計	45,006	39,084
固定負債		
長期借入金	351	210
退職給付引当金	3,554	3,661
環境対策引当金	2,204	2,204
その他	841	793
固定負債合計	6,951	6,868
負債合計	51,958	45,953

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,252	10,252
資本剰余金	6,664	6,679
利益剰余金	39,791	40,129
自己株式	△317	△295
株主資本合計	56,390	56,765
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	924	524
繰延ヘッジ損益	19	△22
為替換算調整勘定	△2,134	△2,661
その他の包括利益累計額合計	△1,191	△2,159
新株予約権	16	10
少数株主持分	2,234	2,299
純資産合計	57,451	56,915
負債純資産合計	109,409	102,869

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	38,595	43,247
売上原価	27,677	31,627
売上総利益	10,917	11,620
販売費及び一般管理費	9,322	10,149
営業利益	1,595	1,471
営業外収益		
受取利息	31	36
受取配当金	46	69
その他	286	241
営業外収益合計	364	347
営業外費用		
支払利息	145	128
その他	110	92
営業外費用合計	256	220
経常利益	1,704	1,598
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	221	－
特別損失合計	221	－
税金等調整前四半期純利益	1,482	1,598
法人税等	485	489
少数株主損益調整前四半期純利益	996	1,108
少数株主利益	198	190
四半期純利益	798	918

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	996	1,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△634	△399
繰延ヘッジ損益	5	△41
為替換算調整勘定	△456	△655
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△1
その他の包括利益合計	△1,087	△1,097
四半期包括利益	△91	10
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△222	△50
少数株主に係る四半期包括利益	130	60

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円　未満切捨）

	報告セグメント			調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	電力機器事業	ビーム・真空応用装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,026	10,568	38,595	―	38,595
セグメント間の内部売上高又は振替高	152	31	184	△ 184	―
計	28,179	10,599	38,779	△ 184	38,595
セグメント利益	1,988	697	2,686	△ 1,090	1,595

（注）1. セグメント利益の調整額△1,090百万円には、セグメント間取引消去7百万円、全社費用△1,098百万円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第２四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円　未満切捨）

	報告セグメント					調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	電力機器事業	ビーム・真空応用事業	新エネルギー・環境事業	ライフサイクル・エンジニアリング事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	22,093	11,480	2,553	7,120	43,247	―	43,247
セグメント間の内部売上高又は振替高	199	11	6	392	610	△ 610	―
計	22,292	11,491	2,560	7,513	43,858	△ 610	43,247
セグメント利益又は損失（△）	946	602	△ 803	1,081	1,827	△ 356	1,471

（注）1. セグメント利益の調整額△356百万円には、セグメント間取引消去△13百万円、全社費用△343百万円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない売上原価及び一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第１四半期連結会計期間から、新中長期計画「ビジョン２０１５」の策定に伴う事業構造の再構築のため、報告セグメントの区分表示を「電力機器事業」「ビーム・真空応用装置事業」の２つの事業セグメントから、「電力機器事業」「ビーム・真空応用事業」「新エネルギー・環境事業」「ライフサイクル・エンジニアリング事業」の４つの事業セグメントに変更しています。

当連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更前の区分表示により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下の通りです。

（単位：百万円 未満切捨）

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	電力機器事業	ﾋﾞｰﾑ･真空 応用装置事業	計		
売上高 外部顧客への売上高	29,685	13,562	43,247	―	43,247
セグメント間の内部 売上高又は振替高	206	39	245	△ 245	―
計	29,891	13,601	43,493	△ 245	43,247
セグメント利益	1,292	1,417	2,710	△ 1,239	1,471

(注)1. セグメント利益の調整額△1,239百万円には、セグメント間取引消去5百万円、全社費用△1,245百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4.　補足情報

(1) 海外売上高

（単位：百万円 未満切捨）

区　　分	前年同四半期（平成22年4月～平成22年9月）		当四半期（平成23年4月～平成23年9月）	
	金額	連結売上高に占める割合%	金額	連結売上高に占める割合%
海外売上高				
アジア	14,380	37.2	15,322	35.4
その他	682	1.8	4,575	10.6
合計	15,062	39.0	19,898	46.0

(2) 所在地別セグメント情報

前第２四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）　（単位：百万円 未満切捨）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	日本	アジア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,564	8,014	16	38,595	―	38,595
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,358	416	42	1,817	△ 1,817	―
計	31,922	8,431	59	40,412	△ 1,817	38,595
セグメント利益又は損失(△)	1,435	1,305	△ 7	2,733	△ 1,137	1,595

当第２四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）　（単位：百万円 未満切捨）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	日本	アジア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,385	9,714	147	43,247	―	43,247
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,505	925	139	2,569	△ 2,569	―
計	34,891	10,639	287	45,817	△ 2,569	43,247
セグメント利益	1,271	1,300	56	2,628	△ 1,157	1,471